

群馬工場の新生産棟が3月1日より稼働開始 世界のマザー工場として、国内外の総生産量が1.3倍に

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 一俊)が群馬工場(群馬県伊勢崎市)の敷地内に新たに建設した新生産棟が、3月1日に一部稼働を開始しました。稼働当日には関係者約150名を招いて稼働式や工場見学、完成披露パーティを実施しました。



<群馬工場 新生産棟>

群馬工場は1980年に稼働を開始し、当社のスキンケアやコスメタリー製品を中心に生産していましたが、近年の売上拡大に伴う生産量の増大と、多品種少量需要への対応が必要とされてきました。また、グローバル化に伴う“Made in Japan”の化粧品ニーズの高まりにも対応するため、現在の生産棟に並ぶ形で、より高付加価値製品の生産能力強化を目指して新生産棟を建設し、今後は群馬工場を海外を含めたマザー工場として位置づけます。

今回稼働した新生産棟の特徴は、製品タイプ毎に生産ゾーンを分け、それぞれを管理することにより、化粧品GMP^{※1}に準拠した生産環境を構築し、万全な品質保証体制に結びつけていきます。

棟内の諸室は生産工程順にコンパクトに集約し、動線のワンウェイ化を図っており、また上下の動線は自動化設備を活用し、物流・マテリアルハンドリング効率の向上を図り、自動化ライン等とあわせ生産性の向上を実現します。その結果、当社の持つ工場の国内外の総生産量^{※2}が、稼働後は従来の約1.3倍へと拡大します。

また、2012年に導入済みのエネルギー総合効率に優れたコージェネレーションシステムを群馬工場全体で活用してCO₂排出量を低減するなど、環境負荷低減への取り組みを続けます。

※¹: good manufacturing practice (医薬品等の製造管理および品質管理に関する基準)

※²: 国内外の自社生産個数換算(アルビオン工場を除く)

【稼働式当日の様子】



<安全祈願祭>



<稼働式>



<新生産棟内部>



<完成披露パーティ>

【参考情報】

<群馬工場概要>

所在地 群馬県伊勢崎市境伊与久 1913
敷地面積 89,000 m²
生産品目 メイクアップ・スキンケア製品

<新生産棟概要>

延床面積 18,666 m² (5,656 坪)
階数 地上 3 階建
生産能力 年間 4,500 t、3,000 万個
→国内外総生産量は従来の 30%増
投資額 60 億円
従業員数 300 名 (予定)
※既存棟と合わせると約 700 名強となる予定です



<手前が新生産棟>